



# 陵雲だより

～自ら進んで考え判断し行動する子供の育成～

旭川市立陵雲小学校



## 陵雲っ子が様々な場面で活躍しています!

3学期が始まりました。最近では、陵雲小学校の児童のよさが様々な場面で発揮されています。先日、地域の方から次のようなお手紙をいただきました。

陵雲小学校 校長 甲斐信太郎様

前略 御免ください

末広地区に住む80歳を超える高齢者です。昨日、14時40分ごろ、低学年と思われる男の子が見知らぬ私に優しく手をさしのべてくれたことに涙が出るほどありがたく感激しました。全校の皆さんにご紹介いただき、当該のお子さんにも深い感謝の意をお伝えいただきたく、その概略をお伝えしますので、よろしく願いいたします。陵雲には珍しい話題ではないとも思いながら、お知らせせずにはいられない気持ちなのです。

これまでの冬は、玄関前や車庫、物置などの雪下ろしも一気にやり遂げる気力も体力もあつたはずの私ですが、昨年秋から体調を崩し、これまでのようにはできない毎日、心も暗く沈みがちでした。足元が不安定で、少し歩いたときに立ち止まり、たくさんの人に追い越されることが多いのです。

昨日の午後、運動不足解消も兼ねての買い物帰り、40号線沿い、セイコーマート前の歩道押しボタンのある信号を目指していた時のことです。後ろから駆け抜けていった数人の子供たちの一人が勢いよく駆け戻ってきました。なんと、無言で私の手を取り信号のある側まで優しく誘導してくれたのです。足元のふらつく私に気付いて、咄嗟に駆け戻ってくれたのでした。ありがとうを言うのがやつのことで、名前を尋ねることもできないまま、その子は何もなかったように友達の後を追っていきました。その子は赤みがかつた短めのダウンジャケットを身に着けていたようだとの記憶しかないのが残念です。

暗く沈みがちだった心に明るい暖かい光がさしたように思われました。帰宅後、この出来事を妻に報告すると、いい子に出会えてよかったねえ。これからは、良いことがありそうねと、大喜びでした。

支離滅裂、文脈も整いませんが、よろしくご判読お願いいたします。

早々

末広地区高齢男子

地域の方に優しく手を差し伸べることのできる児童が陵雲小学校にいるということはとても嬉しいことです。他にも旭川冬まつりの雪像デザインや旭川市児童生徒作品展への入賞、冬休み中の各少年団での試合の活躍、ピアノコンサートへの参加等、様々な場面で陵雲っ子の嬉しいニュースが届いています。

少年団や個人での子供たちの活躍は、校長室で賞状とともに撮った児童の写真を校内の「陵雲っ子のがんばり」コーナーに掲示し、お知らせしています。



## 令和5年度の重点目標

### 『自ら進んで、考え判断し行動できる子供の育成』

子供向け合い言葉～「友達と共にやる気を出してきらきらぐんぐん取り組む子供」～

校長 甲斐 信太郎

令和4年度、本校は「自ら進んで 考え判断し行動できる子供の育成」を重点目標に、組織力を高めて教育指導改善を進め、子供の主体性と協働性の育成を目指しました。学校評価の結果から、今年度の重点目標が十分に達成できたといえる評価となりました。特に、重点目標の主体性と協働性の育成に関わる結果が高い評価でした。重視した指導の結果、総括「学校に来ることが楽しい」の高い評価（R3年度と同様の児童90%、保護者92%）につながったものと考えます。

#### 《主な成果》

- 学校生活を楽しみ、学校に来ることが楽しいと感じている子供が多い。（R3と同様の子供90%、保護者92%）
- 友達共にやる気を出して学習に取り組む子供が増えてきている。（R3から微増の子供94%、保護者10%増加の85%）
- 考えて判断し行動する子供が増えてきている。（子供95%、R3から保護者4%増加の89%）
- ICTを有効活用し、主体的に学ぶ子供が増えてきている。（R3から微増の子供94%、保護者91%）
- 身に付けさせる基礎的な学習内容を焦点化した授業や個別指導、反復学習や家庭学習の継続等で、基礎的な学力の向上が図られてきており、今後も継続指導が欠かせない。
- 「5つのあ」の挨拶について、自ら進んで挨拶する子供が増えてきている。（R3と同様の子供94%、保護者92%）
- 新しい生活習慣の定着が図られてきている。（子供94%、保護者94%）
- 生活リズムを守る指導により家庭等の理解が進んでいる。指導の継続が必要。（子供85%、保護者83%）

#### 《主な課題》

- ▲土日等での子供の学習時間の不足がみられるので、家庭での時間の使い方、余暇の使い方等の十分な改善・習慣化に向けて、継続的な指導が必要。
- ▲毎朝の読書で、教室や廊下を走り回る子供やトラブルが減り、落ち着いた学校生活の始まりが定着してきている。（子供86%）しかし家庭での読書には反映していない様子がみられ、家庭の協力を得ての取組を工夫する等必要である。
- ▲家庭の協力を得て早寝・早起き・朝ご飯の習慣の定着や家庭学習のめやす時間を守る習慣を図る必要がある。
- ▲いじめ防止に向けて、「いじめはゆるされない」（子供100%）の浸透は図られたものの、今後、早急に「親や先生、友達に相談する」子供が100%となるよう、子供の意識化を図る必要がある。
- ▲個別に配慮を要する児童に対して、学校体制づくり、子供一人一人に目を向けた指導の充実が一層必要となる。マスメディアについても家庭での約束が守られていない家庭が急増している。トラブルの多くはライン等スマホの使用によることから、調査や適切な指導が必要である。
- ▲働き方改革について業務や生徒指導事案対応等を時間内にこなせない場合があり、できるだけ効率的な仕事の進め方ができるよう見直しをもつ必要がある。

これまでの数回にわたるコロナ感染症拡大の中で、人とのつながりをできる限り重視にした教育活動を実施いたしました。コロナ禍においても学びを止めず教育活動を継続し成果がみられました。

令和4年度に取り組んだ子供向け合い言葉「友達と共に《きらきらぐんぐん》取り組む子供」は、右図の「自分や友達のよさ」に焦点を当て、子供に「見直し」をもたせ友達と協働的に活動する子供の姿を目指しました。子供自身が学んだことや身に付けた力を友達と共に自覚し、主体的に活用しようとする態度の育成の面で効果を上げました。令和5年度は、さらに「やる気」と「よさ」（協働性）に一層焦点を当て、「友達と共にやる気を出して《きらきらぐんぐん》取り組む子供」の育成を図ります。感染対策を徹底しながら、自分の取組、

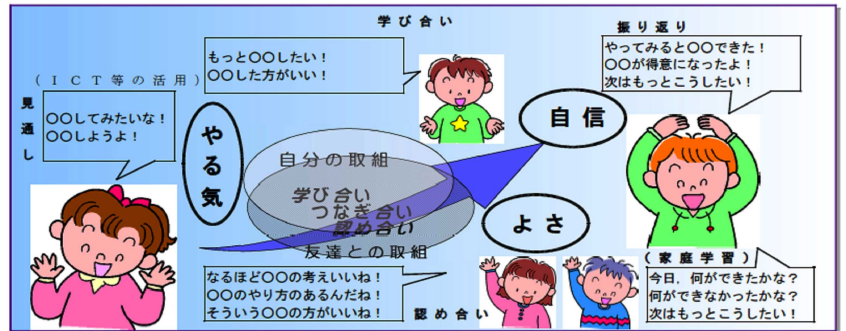
友達との取組である「学び合い」「つなぎ合い」「認め合い」の3つの教育活動を通して、自他のよさに気付き、友達と共に高め合うことで自信を深める子供の育成を目指します。

1 【自ら進んで、考え判断し行動できる子供】を目指します！

子供たち自身が自分に向き合い、自ら学ぶ態度を深めるためには、子供たちの目的意識や自  
分事意識を高める必要があります。教育を通して、自分の夢や  
なりたい自分に向けて挑戦し続ける子供の育成を図ります。

(1) 【学び合い（学力向上に向けた取組）】では

「問い」や「きらぐんタイム」を重視した指導の工夫を展開することはもとより、子供が見通し（単元のゴール）をもち主体的に取り組み、学び合いを通して、他の考えをしっかりと聞き、自らの考えを深めさせる場を重視します。また、きらぐんタイム（振り返る場）を経験させる等により向上的な変容の自覚と



【学び合い】	【つなぎ合い】	【認め合い】
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「問い(見通し)と運動しよさを自覚させる「きらぐんタイム(振り返り)」</li> <li>◎学び合いや共同活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分に向き合い、よさに気付かせる指導</li> <li>◎学習・運動を通して楽しさや達成感を味わわせる活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎友達との豊かな関わりを高める指導</li> <li>◎互いの学びや健康・体力の向上の自覚と意欲を高める</li> </ul>
◎目的意識を高める指導	◎自他のよさを気付かせる指導	◎協働意識を高める指導
<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかる授業</li> <li>○基礎的な学習内容の確かな定着を図る指導</li> <li>○学習規律の共通理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分事として、くらし方や規範意識を高める指導</li> <li>○ねばり強く継続できる取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心を耕す活動・体験</li> <li>○思いやりや命を大切にす指導(保健室と学級との連携指導)</li> </ul>
◎家庭と一体となった学習習慣の定着	◎家庭での時間の使い方指導	◎家庭生活のリズムづくり

確かな学力の育成を図りたいと考えます。また、ICT を効果的に活用して、子供にとって分かりやすい授業づくり、教師にとって、評価のポイントを絞ったシンプルな授業づくりを進め、学びの自覚化と互いに高め合う協働性の育成を目指します。

(2) 【つなぎ合い（自律や主体性の育成に向けた取組）】では

学校生活での友達との関わりの中で、自ら選択したり自分事として考え判断したりする活動を通して、自分自身を見つめる場や自分のよさを自覚する場を重視して、子供の達成感や子供の自信につなげる指導を展開します。

(3) 【認め合い（健康な心身の育成に向けた取組）】でも

感染状況に応じて集団活動を充実させる指導の工夫を継続しながら、自他の取組のよさに気付かせる指導を重視します。校外での活動や友達との生活全体を通して、生活をより良くするための工夫など、子供同士の関わり方が深まるよう取り組ませます。例えば、学校行事や委員会活動等で、学年を越えた活動（運動会や陵雲フェスティバル等）学級・学年で計画や作戦を考えさせたり、他のよさを認め合う場やコミュニケーションの場を重視しします。また、健康・安全な生活な生活のため基本的な生活習慣の確立や家庭学習の習慣化、自分の体力や健康の向上に向けて家庭・地域と連携し、継続的に実践します。

**令和5年度も、全学年クラス替えを行います。(1・3・5年生)のクラスもクラス替えを行います！**

全学年クラス替えを行う理由は、次の2点です。

- ①友達との関わりをより多様な人間関係に広げるため。様々な人と関わる機会を増やし、新しい環境でもどこへ行ってもやっていける子供の心に自信をもたせるためです。
- ②固定された人間関係ではなく、子ども同士が自然と様々な個性を認め合う環境づくりを目指しています。

クラス替えで保護者の皆様が心配されることは、「仲の良い友達と一緒にになれるか」「新しく仲の良い友達ができるか」という2つの点ではないでしょうか。子供に楽しい学校生活を送ってほしいと願うことは子供と保護者の皆様の願いだと考えます。令和4年度の友達との関わりをより多様な人間関係に広げるためにも、令和5年度は全学年のクラス替えを計画いたします。様々な人と関わる機会を増やし、新しい環境でもどこへ行ってもやっていける子供の心に自信をもたせるためです。一年間、子供がどのような環境で暮らすことができるかということは、とても大事なことです。

# ゲストティーチャーを迎えて道徳の授業がありました!

## ～心に響く道徳教育推進事業～

1月17日(火)3校時にコンサドーレ・リレーショングッズチーム・キャプテンの河合竜二さんを講師としてお迎えし、全校で道徳の授業を実施しました。当日は6年生が体育館、1～5年生は各教室でオンラインでの参加となりました。

河合さんからは、「夢の叶え方」をテーマに、プロサッカー選手になるまでにご自身がサッカーとどのように向き合ってきたのかについて、お話がありました。また、①夢を叶えるための近道はない。②目の前のことを全力で行うことが大切であるということをお話いただきました。子供たちは、この授業を通して、「努力の積み重ねが大事。」「全力で行うことは大切なことなんだなと思った。」「目の前のことを全力でやろう。」などと意欲をもったりしました。

4校時には、全学年を代表して6学年の児童に、サッカーボールを使った実技指導がありました。一流のプロスポーツ選手と触れ合える、貴重な時間となりました。

また、一緒にいらしたコンサドーレの企画室長の熱海 寿さんは、陵雲小の第6回卒業生で母校の子供たちとの交流をととても楽しみにしていました。子供たちにとって、先輩からの言葉も励みになっていたようです。

最後には、陵雲小学校への記念品として、コンサドーレのミニフラッグと直筆のサインをいただきました。記念品は、1階会議室前の廊下に掲示しています。



## ～2月、3月の主な行事予定～

※2月3日現在の予定です。新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染状況により、変更が生じる場合があります。

2月 6日(月) スキー学習 3年  
 2月 8日(水) 新1年生保護者説明会  
 2月14日(火) スキー学習 2年  
                   広陵中新入生保護者説明会  
 2月15日(水) 諸費引落日  
 2月21日(火) スキー学習予備日(弁当の日)

2月24日(金) 参観日 1・3・5年  
 2月27日(月) 参観日 2・4・6年  
 3月20日(月) 卒業式  
 3月24日(金) 修了式・離任式  
                   通知表配付